

2021 年度勤労者支援リーダー研修会

開催日：2022年2月13日（日）
会場：Web会議

開始挨拶：國分委員長

開催案内が遅れてしまい申し訳なかった。今回は推進委員で考えたものを一緒に話し合い、この勢いを皆さんに伝え、各県に持ち帰り活動してほしい。

来賓挨拶：加藤職域統轄事業部副部長

令和3年介護報酬改定と令和4年診療報酬改定の内容が決まった。栄養部分の比重が高くなっている。栄養サミットや来年はACD（アジア栄養国際会議）など、ここ数年栄養についてクローズアップされている。栄養は大切だという事を様々な人から聞くようになった。浮かれることなく真摯に目の前の対象者に「管理栄養士・栄養士に会ってよかった」と言ってもらえる存在になるための活動をしなければならない。

2022年度は勝負の年。医療・福祉の同時改訂のため、2022年度の実績が必要。確実な足跡が残せないと「管理栄養士・栄養士は何もできない」と言われてしまう。その中で勤労者支援に言いたいのは、管理栄養士・栄養士がどこにいるのかという事を国民に「見える化」してほしいという事。

2022年度事業計画

- ・事業推進委員会4回。
- ・リーダー研修会（2022.10予定）
- ・第44回全国矯正施設栄養士研修会（2023.1予定）
- ・勤労者支援スキルアップ研修（仮）（2023.1予定）
- ・会員数を増やすために…勤労者支援はここ2年微増中。特に広島県は倍増している。勤労者支援（2021年12月現在1334名）は目標（1370名）に肉薄している。2030年までに2000人の会員に増やしたい。今現在の内訳として、薬局・ドラッグストアの管理栄養士・栄養士が入ってきた。顔の見える健康サポート薬局として、そこに就業するものが増えてきた。これが勤労者支援の所属となっている。また、給食会社・新たな健診センター、情報サービスの会員が増えていく背景もある。増えた会員を活性化するために県のリーダーたちにも協力してほしい。

養士・栄養士が入ってきた。顔の見える健康サポート薬局として、そこに就業するものが増えてきた。これが勤労者支援の所属となっている。また、給食会社・新たな健診センター、情報サービスの会員が増えていく背景もある。増えた会員を活性化するために県のリーダーたちにも協力してほしい。

・広報（HP）：下村委員

日栄HPの閲覧数が増えている。今年度より各職域から1名ずつで構成するHP委員会が発足。

・生涯教育：小川委員

3つの認定制度の認定者を増やすことを目的としている。研修を受け、単位を貯めていただきたい。

・情報提供（JDA-DAT）：今川委員

災害に同じものはない。躊躇があると思うが、前線に入るのではなく後方支援という形もある。（自衛隊の方の作る食事の栄養価をみたり、献立作成を手直ししたりなど）まずは、声をかけるためにリーダーになってほしい。JDA-DATの研修を受け自分にもできることをしてほしい。

・情報提供（外部研修の告知）：佐藤副委員長 第32回日本給食経営管理学会研修会

（2022.3.26）（日本栄養士会後援）

「日本食品標準成分表2020年版（八訂）の給食施設での活用」

<https://kyushoku.net/th32workshop/>

（チャットにて共有）

東京都栄養士会研修会（2022.2.26）

「スポーツ栄養セミナー」

2022年の勤労者支援事業推進委員の選任について

國分葉子 佐藤愛香 今川弥生

小川まゆ子 松本 勲 水野美紀

以上6名再任
講演「働く世代の健康維持・増進のための栄養
ケアサービスについて」

勤労者支援職域ビジョン（案）

講師 國分 葉子氏

【国民の健康維持・増進のための「栄養ケアサービス」を推進し、健康寿命の延伸に貢献する】を大きなビジョンとして掲げた。それに対して職域を4つに分けることで具体的な目標を持つことができる。①食事提供領域・②製造流通領域・③健康情報領域・④医薬品販売領域各自がどこに所属するのか、各県の会員たちがどこに所属しているのかを考えながらこの後の話し合いに繋げていってほしい。①～④はあくまで（案）であり他の意見があれば話してほしい。（各領域別重点事業及び行動計画（案）については資料に準じる）

各自が自分事として一緒にどうしたらこの

栄養士が盛り上げられるかを考えてほしい。

2022年は勝負所である。日栄も体制が変わってきているので次の期はその準備段階。再来期は動いていないと栄養士は終わってしまう。他の職域が健康増進に注目している。例えば、薬剤師が病院を離れて健康サポート薬局を作り、国の健康サポートの目的を達成してしまった。（栄養ケア・ステーションと健康サポート薬局で目標数に達するはずだったのに）なので、勤労者支援が健康サポートをしっかりと盛り上げないと、管理栄養士・栄養士は病院や施設で「健康ではない人を見るだけの存在」になってしまう。そうではなくて、健康維持・増進、健康寿命の延伸が私たちの仕事だと思う。その為の活動を我々が作り上げないと管理栄養士・栄養士が終わってしまう。

（文責 勤労者支援 松本勲）